

「松江市新庁舎整備基本設計(素案)」に対するパブリックコメント(意見募集)の
結果及び意見に対する市の考え方について

1 意見募集の結果について

募集期間	平成31年4月26日(金)～令和元年5月27日(月)
資料公開場所	本庁・支所行政資料コーナー、市ホームページ、財政部新庁舎整備室
意見提出者数	35名
意見項目数	166件

2 意見の概要と市の考え方

No.	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方
1	配置計画	・車以外の来場者についてもう少し配慮してほしい。たとえば、北側の駐輪場に停めた場合、横断歩道がないため、動線が不明で、危ないように思える。	来庁された方が安全にご利用いただけるよう、横断歩道や道路標示の設置をはじめとする車両や歩行者の動線の確保のほか、通路幅や出入口の配置レイアウトなどについて精査し、基本設計完了時には基本的な配置計画をお示ししたいと考えています。
2		・正面玄関前の通りが銀行・コンビニ・トイレによって凸凹していますが、そのため死角による、セキュリティ・歩行者と車寄せへの通行車両の安全性について不安です。	
3		・北東の一番利用が多そうな駐車場から新庁舎へ移動する場合、駐車場の出入口の前を通る動線となっているが、車との動線分離が出来ておらず、危険ではないでしょうか。	
4		・西側平面駐車場からの動線の安全確保(車のスピード制限など)を高めていただきたい。	
5		・庁舎の複数の出入口、駐車場の出入口の分散、何かと便利です。	
6		・1階西側のエントランス しんじ湖温泉駅から建物西側にアプローチするとき、放水路を渡って正面に既存の機械棟があり、計画では西棟に新たに設けられたエントランスホールに向かうことになっているが、レベル差まであり、動線として極めて不自然。バリアフリーの観点からも問題。西棟のエントランスを改修する費用のことを考えれば、機械棟の移設に関わる費用は十分に釣り合うのではないかと。本計画の中で一番禍根を残しかねないのが、この部分である。5ページの断面には「まちの連続」という文字が見られるが、機械棟が連続を分断している。しんじ湖温泉駅からまっすぐ、本棟の東西を貫く動線にすべき。しんじ湖温泉駅は複数のバス路線が乗り入れる重要なバスターミナルでもあり、北循環線のみ松江市役所前バス停以上に利用価値が高いことも、十分に考慮すべきである。	この機械棟は、原子力災害時に備えた放射線防護対策のために建設した新しい建物ですので、現時点は、これを活用した計画としています。現在、機械棟の移設による利便性の向上などについても、メリットやデメリットなどを精査しているところです。
7		・西棟側からの出入り口から本館へのつながり動線が迷路の様。もっとスムーズにしてほしい。しんじ湖温泉駅方面からのつながりも重要。	
8	外観・景観・周辺環境との調和	・財政状況が厳しい中、新庁舎を新築するにあたっては、建築費が高むような意匠を凝らしたデザインではなく、機能性を重視したシンプルなデザインにして設計・建設費を抑制するべきだと考えます。また、デザイン案にあるような意匠を凝らしたデザインの場合、維持管理にかかるランニングコスト増大も懸念されます。	庁舎の外観については、形状を階段状とすることで、松江城天守から宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島の眺望を確保し、末次公園や宍道湖になだらかに連続した風景が創出されるよう計画しています。設計を進める中で、建設コストやランニングコストなどを含めた、ライフサイクルコストの低減についても、あわせて検討していきます。
9		・オシャレなデザインの外観だと思います。	
10		・松江城から眺める市庁舎が空間を通して宍道湖が見えて良かった。	
11		・現状の眺望維持に配慮をお願いします。眺望維持の具体的な対策があれば教えてください。	
12		・設計主旨 将来の現地建替を考慮した設計にすべき。外観は松江地方合庁を参考によりシンプルにすべき。	
13		・景観的な末次公園との一体性に配慮された計画はとても良いと思います。さらに空間的な一体性をもたせるために、公園から道路を跨ぎ直接2Fのテラスへ繋がる陸橋があると良いと思います。2Fテラスを公園の一部のように整備して、訪れて楽しい市庁舎になるといいなと思います。	
14		・歩道橋の設置 この敷地の一番の特徴は宍道湖畔であることだと思う。親水空間にこそ人が集う可能性を感じる。その宍道湖畔を利用しない手はない。将来、千鳥南公園が宍道湖大橋近くまで延長されることを想定した場合、国道431号、新庁舎の2階南側のテラスと宍道湖畔の遊歩道を結ぶ歩道橋を設置してはどうか。宍道湖畔を散歩している人が、車を気にせず自然に庁舎の2階テラスに向かい、そこで宍道湖の眺望を楽しむことができる。何より新庁舎と宍道湖畔との連続性がより強くなるのではないかと。	
15	・末次公園と新市庁舎をつなぐ仕組みづくりについて 敷地条件により、エントランス廻りが窮屈に感じます。本来であればエントランス広場等を設け、市民の集いの場が必要だと思います。そこで、末次公園を改修して新市庁舎とつなぐ「広場」を設けたら良いと思います。また、この「広場」を含めたオープンスペース「末次公園」のあり方を市民参加で広く意見をつることも重要であり、オープンスペースがコミュニティの核になると思います。		
16	・配置計画について 庁舎と末次公園を、地下駐車場からの地下通路、あるいは庁舎2階からのテラス階段でつなぎ、市民の憩いの場としての公園利用、災害時の公園利用、公園とテラス階段を活用したイベント活用ができるようにしてはどうか。		
17	・水上タクシー乗り場の設置を希望。		
18	・屋上(テラス)の緑化 プロポーザルの案では、建物全体を緑化する内容だったが、見事に1本の緑もなくなり、素っ気ない外観となってしまった。維持管理とのせめぎあいとは思いますが、末次公園の緑と連続という観点からも、松江城からの見え方という観点からも、テラスや屋上への緑化は重要ではないかと。プロポの選定にあたっては、思い切った緑化によるオリジナリティの高い外観が高く評価されたと聞いているが、それをすべて捨て去るというのは、計画プロセスの観点からも問題とならないか。ゼロか100かではなく、その中間の可能性をねばり強く探っていくべき。	新庁舎の緑化については、宍道湖や末次公園等の周辺の風景との一体性を図ることは重要であると考えています。あわせて、将来の維持管理についても考慮しながら検討していきます。	
19	・新庁舎建設による北側住宅エリアからの南側(特に宍道湖)の眺望がどうなるのか具体的(例えば、南北にかけての眺望の断面図等)に教えてください。	新庁舎は現庁舎より南側に配置し、建物の形状を階段状にすることで、景観の確保と高さによる圧迫感を軽減するような計画としています。また、住宅エリアまでの距離を離すことで、周辺にお住まいの方のプライバシー確保を図っていきたいと考えています。	
20	・新庁舎(屋上・テラス、事務室等)による北側住宅エリアに対してのプライバシー確保をお願いします。具体的な対策があれば教えてください。		
21	・新庁舎周辺の環境維持に配慮をお願いします。具体策(街路樹等)があれば教えてください。	周辺環境との調和と今後の維持管理を考慮しながら、新庁舎周辺の外構計画について検討を進めていきたいと考えています。	

No.	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方
22	外観・景観・ 周辺環境との調和	・全体イメージとして 「水の都・松江」のイメージを喚起するように、水辺の公園に停泊し宍道湖面の表情のような、陽光をきらきら反射させた航海客船のイメージを連想させるような外観が良いと思います。内装は、冷たく、威圧的になりやすい「お役所」を地元のなつかしい素材の力で、やわらかく暖かいものにしたらよいと思います。完成後(2026年)市民の思いを乗せ、松江丸はどうゆう方向に向かって舵を切っているでしょうか、楽しみです。新庁舎建設が、あたらしい松江のコミュニティの核づくりになることに期待します。	庁舎の形状を階段状とすることで、末次公園や宍道湖になだらかに連続した風景の創出を計画しています。内装などについても、松江らしさの演出と地場産業の振興を考慮して、松江の伝統工芸品や特産品、地場産材などを取り入れることを検討しています。
23		・外観デザインについては、圧迫感も無く、松江の緩やかな景観に溶け込んだものとなっており、良いと思います。計画にあるように、自然素材を取り入れた歴史ある松江の町にマッチするような素敵な建物にしてください。	
24	駐車場	・JR松江駅の地下駐車場は、出入口を始め駐車場全体が狭いため、利用者の自家用車と駐車場の壁面などが擦れた跡が多く見られます。新庁舎の駐車場は、運転技術に長けていない女性ドライバーにも配慮してほしいです。	地下駐車場については、駐車スペースの配置や動線などを工夫し、安全を確保します。基本設計完了時には基本的な配置計画をお示しいたいと考えています。
25		・身障者用駐車場が正面入口付近に6台用意されているようですが、少なくとも1台は少ないでしょうか。	おもいやり駐車場は、現時点で平面駐車場に6台、地下に2台を予定しており、「松江市ひとにやさしいまちづくり条例」の整備基準を満たした十分な配置を検討しています。基本設計完了時には基本的な配置計画をお示しいたいと考えています。
26		・敷地北西側に駐車場出入口ができるようですが、道路の交差点(丁字路)の近くでもあり、事故等起きないか少し不安があります。	駐車場の出入口については、駐車場法に基づき、また、道路管理者や警察等との協議を重ね、交差点から必要な距離を確保した配置としていますが、今後さらに安全確保のために精査していきます。
27		・工事中に駐車場が使えなくなるのは困るので、近くに確保してほしい。	来庁者用の駐車場は、工事期間によって駐車台数が不足する場合も懸念されるため、庁舎周辺に駐車台数を確保できるよう検討します。
28		・工事中の駐車場はどうなるのか。どこに停めたいのか。	
29		・基本計画で想定していた立体駐車場は取止めるとのことであるが、1期工事の期間中の駐車場を十分確保し、利用者の利便性が損なわれないよう配慮いただきたい。	
30		・工事期間(約5年間)の駐車場が不足するのでは？	
31		・橋南方面から来庁する場合(思いやり駐車場)以外は、地下に入る様だが、少し遠くなるようです。四十間堀川放水路方面から右折するのに信号がないので、極めて危険だし、渋滞になるのではないですか。	駐車場の各ゲートからは、平面駐車場と地下駐車場の両方に入れるよう計画しています。また、混雑をできるだけ解消するため、道路幅員の拡幅や車線の増設などを検討していきます。
32		・休日に思いやり駐車場として利用を考えた場合、地下駐車場に停めたらスロープしか出入口がないように見えるので不便に思える(それとも閉鎖?)。また、駐車場から宍道湖岸へ出るための歩道があるととても良いと感じる。	地下駐車場も含めた、閉庁日における駐車場の一般開放などの運用方法については、関係部局と検討していきたいと考えています。また、宍道湖や末次公園などの周辺環境との連携が図れる、移動しやすい動線についても検討していきます。
33		・地下駐車場と平面駐車場について、土日祝の無料での一般開放はされますか？	来庁者の方に適切に駐車場を利用していただくために、ゲート等による駐車場の管理は重要であると考えています。駐車場の管理や運営方法、利用料金等については、今後検討していきたいと考えています。
34		・地下駐車場の必要性があるのか。水害が起こった際に安全なのか心配。	
35		・駐車場の配置、整備について 地下駐車場が整備されることになり、駐車台数の確保の面はもちろん、障がいのある方、小さい子ども連れの方などにとって特に不便を感じる風雨や雪の際などに、外に出ずに庁舎に入ることができるので、とても良いと思う。	
36		・駐車場ゲートについて、観光地に建設するため関係ない車両を止めさせないためには良いと思うが、ゲートに衝突したり、券をなくしたりと問題が発生した際の対処案が明確でない限り設置しない方が良いと思う。	
37		・駐車場代として徴収したお金はどこへあてられるの…？	
38	・設計主旨2,3でユニバーサルデザイン・市民が立ち寄りやすい機能づくりを謳うのであれば駐車場ゲートはない方が主旨通りなのでは？		
39	・基本計画にあった、満空表示や出入口ゲート等の設置、課金システムの導入検討は地下駐車場のみが対象と考えてよいか。平面駐車場も課金対象にすると松江中央郵便局のようなことになりかねないと危惧している。		
40	・地下駐車場及び平面駐車場を設けるのに、車庫棟を別棟として建設する理由が不明です。無駄な建築コスト増と考えます。		
41	・地下水位が高いと思いますが、地下駐車場はコスト、維持管理大丈夫でしょうか？		
42	・思いやり駐車場が分散されていて場所の確認が出来ない。		
43	・地下駐車場にも思いやり駐車場を。EVの近くに設置されたらどうか。	地下駐車場には、エレベーターに近接した場所に、おもいやり駐車場を配置する予定としています。	
44	・倉庫棟の飛び地になっている駐車場は職員用だろうか問題なければ売却してもよいのでは。	倉庫棟周辺の駐車場は、公用車用駐車場を想定しております。	
45	交通環境	・全体的に庁舎がコンパクトにまとめられる計画であるため、施設を利用する立場からするとたらいまわしにされない安心感があり、利用しやすいイメージが湧いている。新しい施設の計画にワクワクしているが、敷地内の計画はもとより、周辺道路の拡幅や歩道整備も含めて総合的に整備し、市役所周辺の交通渋滞や歩行者が歩きにくいイメージを払拭するような周辺環境の整備に引き続き努めていただきたい。	新庁舎周辺の道路環境については、交通量や車両と人の動線に配慮しながら、庁舎敷地への出入口の配置変更や、隣接する道路の拡幅や車線の増設などを検討しています。また、道路標示や看板などでの注意喚起も工夫し、安全安心に努めたいと思います。なお、工事中における安全対策等については、実施設計の中で詳細を検討いたします。
46		・新庁舎建設(工事期間含む)に伴う市道「市庁舎北線」の混雑予想と混雑に伴う沿道の駐車場入出庫時の事故防止策があれば具体的に教えてください。	
47		・配置計画 市道西側の駐輪・駐車場利用者の安全に考慮し、市庁舎西線のカラーリング舗装や放水路の部分的なグレーチング採用を検討すべき。	
48		・具体案はないですが、西側の駐車場から新庁舎へ行く際に、安全に市道を横断できる工夫があればと思います。	
49	駐輪場	・駐輪場は、オープンスペース、サイクルラックなど、どの種類を採用しているのかが気になる。来庁者用、職員用どちらも利用する方のニーズに合わせて、併用するなどの工夫をしていただきたい。また、スタンドのついていない自転車用のサイクルハンガーなどがあれば、庁舎の壁、置場の側面、柱に立てかけて置くなどの景観対策や、飽和対策に繋がるのではないだろうか。	実情を把握するとともに、駐輪場が煩雑にならないよう、駐輪方法について検討していきたいと考えています。
50		・正面玄関側の駐輪場が少ないように思います。	新庁舎敷地内の駐輪場は来庁者用を想定しています。職員用駐輪場は、車庫棟付近に別途配置しているため、来庁者用の駐輪台数は十分確保されるものと考えていますが、車両と歩行者が安全に移動できるよう、動線について検討するとともに、横断歩道等を設置するなど安全対策を図り、基本設計完了時には基本的な配置計画をお示しいたいと考えています。
51		・本庁舎敷地内の駐輪場が今より本庁舎から離れているうえ、スペースが少ないと思える。末次中橋線側からの来庁者のために、せめて台数をもっと増やして、思いやり駐車場と横断歩道で結ぶべき。車庫棟側駐輪場利用者のために、ショートカットして庁舎に行ける工夫が必要。	
52	平面計画	・雨に濡れずに外を歩けるスペースが広そうが良いと思います。	雨や雪が多い土地柄を考慮して、地下駐車場や長い庇の設置、また主な歩行者動線への屋根の設置を検討しています。なお、正面玄関のテラスは相応の高さがあるため、ピロティ部分の暗さは感じにくいと考えていますが、照明や天窓を設けるなどの工夫を検討していきます。
53		・正面玄関上部にテラスがかかり、ピロティ状況になるので、メインの入り口が暗いイメージにならないか？正面玄関前はある程度の敷地の余裕がある方がゆとりを感じられるのでは…。	

No.	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方
54	平面計画	・防災備蓄倉庫が場所の良い南側の多目的スペース近くにあります。大型車両が入れにくい奥まったところでもありますので、多目的スペース面積を増やし、別棟新築される車庫・倉庫棟の一部へ計画するとか、搬入搬出しやすいところへ設置した方がよいのではないかと思います。	庁舎内の防災備蓄倉庫は、災害時でも業務を継続するために必要な物資の備蓄を想定しています。災害時の拠点施設としての役割を果たすことができるよう、搬入・搬出ルートや備蓄倉庫の位置について検討し、基本設計完了時には基本的な配置計画をお示しいたいと考えています。
55		・常任委員会室(1)(2)について、パーテーションを仕切ると会派室前を通らないと入れない出入口設定は、議会関係での使用以外の時に使用するときの出入りについて利用者が多い時の音など問題になりませんか。現在と同様に多目的に利用されることを配慮した動線も考慮されたらどうかと思います。	来庁される皆さまに快適にご利用いただける庁舎となるよう、実際の運用をイメージし、設計を進めていきたいと考えています。
56		・庁舎を訪れる市民の多くは自家用車による来庁であると考えられ、東側正面玄関の利用者はバス利用者および思いやり駐車場利用者のみであると考えられ限定的である。今回の計画においては主となる出入口は①北側、②地下、③西側、④正面玄関の順であると想定できる。標準的な配置計画として正面玄関に面して、ちょっと立ち寄りやすいコンビニ、銀行および総合案内が整備されているが、1Fの一番混雑している待合スペースを通り抜けなければ到達できない動線であるように考えられるため、利用者の動線計画を踏まえた配置計画になることが望ましいと考えます。	松江しんじ湖温泉駅と末次公園を結ぶ動線に配慮した施設配置にするとともに、コンビニや銀行などの利便機能を末次公園や穴道湖寄りに集約配置し、周辺との連続性を創出しています。また、来庁される方がスムーズに出入りできるように複数の出入口を設けています。来庁者の皆さまの利便性がより高まるよう検討を進め、基本設計完了時には基本的な配置計画をお示しいたいと考えています。
57		市長や副市長室の近くに控室(荷物置場、コート等も)があれば良いと思います。	控室等を必要に応じて配置する予定です。
58		・現状に対して新案のスペースはどのように決められたのかが知りたい。今後の人口減に対してはどのような考え方で決められたのか。	現在の組織体制と職員数を基に、今後の職員数等を見込んだうえで、新庁舎の延床面積を算定しました。
59		・平面計画より、庁内西側のEVを利用した際にドアが開いた瞬間、目の前にトイレがあるのは動線的にあまり好ましくないのではないか。(トイレを利用した職員とEVを利用される来庁者との出くわし、プライバシーの問題など)仮に、配置計画として職員が多く利用するような意図があったとしても、地下駐車場を利用する来庁者は少なくとも地上階へのアクセスとして多く利用する可能性があるため配慮していただきたい。	トイレについては、来庁者にわかりやすく、かつ気持ちよく利用していただけるよう、配置や出入口の形状について検討し、基本設計完了時には基本的な配置計画をお示しいたいと考えています。
60		・多目的スペース付近にも多目的トイレを設けてはどうでしょうか？(足が不自由な方が、多目的スペースを利用された際に、現在の設計でいけますと、50m近く移動しなければならない。)	
61		・1階の多目的スペースについて、閉庁時も独立した出入口から利用できるようにするのであれば、多様なイベントを考慮し、独立の多目的スペース内にトイレを設置していただきたい。	
62		・地下駐車場にも、トイレがあってもいいのではないかと。	駐車台数の確保や、管理の難しさから、地下駐車場にトイレを配置することは考えていません。
63		・AI(人工知能)をはじめとした先進技術の導入により、近い将来、行政サービスの提供方法や執務室の使い方が大きく変化することが考えられるため、予測は難しいと思いますが、可能な限り対応をお願いしたい。	将来の行政サービスのあり方や組織変更、人員増減に柔軟に対応できるように設計を進めていきます。
64		・行政手続きの電子化が進めば、窓口スペースは縮小していくので、今後の空間利用については、現段階から考慮すべき。	
65		・機構改革等で部署が変更となると、まず部屋の確保が必要です。将来の組織変更等に柔軟に対応した計画で素晴らしいと思います。	
66		・市長関係部署周りのレイアウトの歪さが気になる。よりシンプルにすべき。	市長関係部署の配置については、関連が深い管理部門や防災部門の配置も含めて、最適なレイアウトとなるよう検討します。
67		・本庁舎機能と分庁舎機能 まず、今回の新庁舎建替整備により、機能的(回遊性含め)になると期待します。	利用が多い手続きの窓口を集約して配置するとともに、見通しの良いフロアとすることで、市民の皆さまにとって、より利便性が高まる庁舎となるよう、レイアウトを検討します。
68	・窓口等が容易に確認できるシンプルなレイアウトでいいです。		
69	・職員にも優しいスペース 職員の健康維持増進の観点から、少し体調が悪い時、一息入れたい時に休憩できるスペース、上司部下、職員間での相談ができるスペースが必要。また、日常的な打合わせ、職員相互の交流の場、外部施設職員の時間待機場所のスペースも必要ではないかと。	職員用の休憩スペースや打ち合わせスペースなどを配置し、職員にとっても働きやすい新庁舎となるよう検討していきます。	
70	フロア構成	・フロア構成の基本的な考え方③について、開かれた議会にするのと眺望が楽しめることは別だと思ふ。(眺望が楽しめる5階に配置したからと言って、市民が親しみやすい開かれた議会にはならない。)	眺望の良い議会フロアを訪れていただくことで議会を知るきっかけにさせていただきたいと思ふ。親子席の設置も予定していますので、小さなお子様連れの方にも安心して議会傍聴をしていただけるようにします。
71		・フロア構成 西棟、新庁舎でフロアの高さが違うのは好ましくない。将来西棟のみを建替える場合は新庁舎の方に合わせてほしい。	将来の西棟の建替えについては未定ですが、来庁者の利用しやすさに配慮したいと考えています。
72	基本設備・構造	・各階執務室が受付カウンターでオープンなフロアと3階・5階のように閉鎖型の間取りが混在していますが、それを一体とした吹き抜けは、オープンな部分的な部屋の使用に対する空調ロスが多くなると思ふ。吹き抜けは2層までとして閉鎖型フロアの吹き抜け部へは、光が通り抜ける床で仕切り、空調ロスを少なくされたらどうかと思ふ。	吹き抜けは、エネルギー効率を高める目的と、自然採光により執務室の環境を向上させる目的で設置することとしています。各フロアでレイアウトが異なる新庁舎において、より効果的な方法を研究していきたいと考えています。
73		・自然採光はもちろんのこと、自然換気も十分にできる維持コストのかからないものにしていただきたい。	
74		・輻射空調など最新の節エネ、省エネ技術をふんだんに採用すべき。	効率の良い設備機器の導入や、再生可能エネルギーも活用し、庁舎全体の省エネルギー化に努めていきます。
75		・外壁の仕様は無機質な全面ガラス張りはやめ、長期にわたりメンテナンスしやすい素材及び仕様にしてほしい。	将来的な維持管理のことも考慮し、適切な素材及び仕様を検討していきます。
76	窓口	・1F、2F部分に窓口部署を集約とあるが、行政のたらい回しをよく耳にしますので、一連の流れで歩けるよう配置を要望します。(特に多くなる高齢者、転勤者、身障者の方へ)	市民の利用が多い窓口を集約して配置するとともに、関係が深い部署を近接して配置することで、スムーズにご利用いただけるよう配慮します。
77		・市役所への要望として、一つの用事をするのに、あちこち移動しなくてはならないので、出来たら近い所にまとめて欲しいと願っています。	
78		・現市役所の庁舎は、古い、狭い、分かり難いため、行き先(窓口)が分からなくて困っている市民が多いと思ふ。新庁舎は、市民目線(感覚)で分かり易く、手続等がスムーズに行えるようになることを願っています。	新庁舎では、市民の利用が多い窓口を集約して配置し、見通しの良いフロアとすることで、行き先がわかりやすいレイアウトとしています。さらに、案内表示も工夫し、よりスムーズに移動できるよう検討していきます。
79		・窓口の配置が分かりやすく、利用しやすいと思ふ。	
80		・待合スペースが両側に行けるのは、便利ですが、気を使って広すぎるのも高齢者、身障者には受け取るのに大変な様に思ふ。	関連する窓口を近くに配置するなど、利用者がスムーズに移動できるよう配慮し、レイアウトの検討を進めます。
81		・窓口について 個人情報を取り扱う窓口については、レイアウトの検討、仕切りの設置等によりプライバシーの確保を図られたい。また、照明配置は十分は明るさを確保されたい。	執務スペースについては、セキュリティエリアを明確に設定するとともに、カウンターなどの形状や配置を工夫することでセキュリティ機能を高めるよう努めます。
82	・死亡届等の手続きが移動しないで最初の受付で全て終わるようにしてほしいです。	本市では、スムーズな窓口運営を目指しており、窓口手続のあり方については、関係部局が連携を図りながら検討を進めています。	

No.	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方
83	防災・安心安全	・地下駐車場は防犯面が心配なので防犯カメラの設置等を検討して頂きたい。	庁舎を管理するうえで必要な箇所に防犯カメラの設置を検討しています。
84		・地震に強い庁舎としてください。	新庁舎は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」における最高水準の耐震性能を確保するため、地震に対して建物の揺れを抑えることができる免震構造の採用を計画しています。
85		・各階にAEDは設置されるのでしょうか。	周囲からわかりやすく、庁舎内各所へ速やかに届けることができる場所にAEDの配置を計画します。
86		・現庁舎西棟を残すことについて、新庁舎設計・建設に余分な負担をかけるものであり、他の庁舎と同様に解体することを前提とすべきだと考えます。西棟を残すことによるメリットが不明です。また、現案にある西棟を[災害時の災害対策本部]とすることに矛盾を感じます。耐震性などに優れた新設庁舎にこそ対策本部を設置すべきだと考えます。	本館西棟は、平成17年に建設されており比較的新しく、原子力災害に備えた放射線防護対策も施されているため、引き続き有効活用していく方針です。災害対策本部については、災害時の市長部局とのスムーズな連携を図るため、新庁舎への配置を検討しており、関連諸室とともに放射線防護対策をすることを検討しています。
87		・西棟も解体対象なら新庁舎はかなりシンプルな外観になっていたはずなので、その点が非常に残念。将来西棟が不要になる場合を想定し、その機能を新庁舎にある程度組み込んでおくべき。(陽圧設備などの防護対策機能)	
88		・地下駐車場に対しての不安:東日本大震災の時、国の想定を元に10mの防潮堤が作られたが、15mの津波が軽々と防潮堤を超えた。宍道湖の海拔は0m。地下駐車場は、満潮時に大雨、津波があったときに、本当に大丈夫なのか。国の定める想定を満たしている設計だと思うが、それより高い意識を持つべきなのではないか。地下駐車場ではなく、立体駐車場で駐車台数を確保したほうがよいのではないかと。車も市民の財産として守られるべき。	新庁舎における水害対策は、宍道湖が氾濫した場合の最大浸水深を想定しており、新庁舎1階の床高を現庁舎より高くすることで、庁舎への浸水被害を防ぐ計画としているほか、地下駐車場の出入口に防潮板を設けるとともに、強制的に排水する設備についても設置する予定です。
89		・地下駐車場ゲート付近に止水版が当然不可欠と思うが検討していないか。	なお、庁舎周辺での津波被害の発生は想定されていません。
90		・駐車場地下対策として防潮板とのこと、以前水害で宍道湖が溢れ、1F部分に流入したので防ぐのみではなく耐圧力や水を流出させる対策をお願いします。	市長関係部局や防災関係部署をはじめとする新庁舎のセキュリティ管理は、実施設計の中で検討を進めていきます。
91		・松江ではまず起こらないだろうが、防災関係部署、市長関係部署のテロ等対策は検討しているのか。	
92		・震災時の対応が最高水準の耐震性能で確保されていて、市民も安心です。災害時、市役所が一番安心です。1Fのみでなく急でも即対応出来るような場所を設けてほしい。	新庁舎は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」における最高水準の耐震性能を確保するため、地震に対して建物の揺れを抑えることができる免震構造の採用を計画しています。また、災害時での市民の皆さまの一時的な滞在にも対応できるよう検討しています。
93		・災害の時の避難場所にもなりますね。	新庁舎の建設工事は3期に分けて行いますので、避難経路については、工期ごとに案内板等にわかりやすく表示することはもとより、適切な位置に誘導灯などを設置することで、来庁者の皆さまを安全に避難誘導できるよう検討します。
94		・工期ごとに応じた緊急時(火災、地震災害等)の避難経路の確保は、十分に確保されている前提で、その都度、来庁者の方々への周知の徹底にはどのような対策を行うのか教えていただきたい。	
95		・先般、1歳の子供と一緒に市役所に行きました。子供のオムツ交換や授乳する場所が分かり難かったです。いろいろな手続きの際に、安心して市役所へ行けるようにしてほしいです。※正面玄関に入った時に分かるかと思えます。	
96		・男女トイレより、女子トイレの方が大きくなっているのはよいと思います。(ただ、一見すると広いけど、多目的トイレが女子トイレ側なので、ほんとどっちが大きいのか分からないです。女子はみんな個室なので、一度に使える人数は少ないのかも?)しかし、授乳室が1ヵ所だけなのは少ないし、場所が分かりにくいのか?と思います。もっとわかりやすい場所で、トイレみたいに各階になくても、赤ちゃん連れで行きそうな窓口の近くにあればいいと思います。	
97	・授乳室の使用頻度が低いと、閉め切ったまま換気が行われず、臭いが気になるので、十分な換気が出来るようにしてほしい。		
98	・授乳室は子連れの男性でも気軽に使える工夫が必要。多目的トイレでも授乳ができる配慮が必要。キッズスペースは庁舎繁忙期を考慮し、トイレが遠くなる点を除けば多目的スペース内の設置が好ましいと思う。		
99	・利便性と機能性、安全性、防災、環境、景観への配慮をされた計画だと思う。できれば、今後の細部の設計の際に、選ばれるまちづくりにますます不可欠な、子育て、子育てへの優しさが実感できるようにしてほしい。		
100	活躍の場の創出	・構想の方針の中に、障害者の社会参加を支援することを入れてほしい。市民から「見える」ところで活躍する障害者、市民と「触れ合える」機会を市役所が積極的に提供することが「心のバリアフリー」を促進することになる。それと、ぜひ、パブリックコメントとは別に、障害者福祉を進める観点から障害者福祉サービス事業所や団体に個別に聞き取りをしていただきたい。	庁舎の運営管理や、飲食店や売店等の運営方法等については、今後詳細を検討していく予定です。その中で障がい者の方の活躍の場の創出についても検討していきます。
101		・総合案内に知的障害や精神障害のある方々を補助員として募集して配置していただきたい。窓口までの案内や、高齢者のための書類の書き込み補助など、お手伝いの機会を提供してはどうか。そうすると、総合案内スペースは少し小さいかもしれない。	
102		・コンビニの代わりに「障害者のお店」を出してほしい。市内の障害者福祉サービス事業所や団体に共同で、もしくは交代で担っていただき、パン、お弁当、作業所で作っているもの、環境に優しい商品等を売る(テルサにあるようなもの)。	
103		・多目的スペースを「障害者が提供する喫茶コーナー」とすることを検討してほしい。コーヒー、紅茶、お茶とお菓子程度を出せるところとして障害者の社会参加、市民社会への包摂を進めるスペースとしてほしい。	
104		・松江市障害のある人もない人も共に住みよいまちづくり条例もし可能であるならば、カフェの運営は障害者の就労支援事業所が担うとよい。何年も前になるが、神奈川県逗子市役所のエントランスにある喫茶スペースで、すべてダウン症の人がウェイトラー、ウェイトレスをされていたのを見てとても衝撃を受けた。市役所が先導したのは間違いなさそう。「松江市障害のある人もない人も共に住みよいまちづくり条例」にはしないよう、新庁舎で何か象徴するようなことができるとよい。	
105	案内表示	・どの場所に目的の課があるのか直感的に分かるようにしてほしいです。	来庁者が目的の場所にスムーズに移動できるよう、関連する部署の集約配置や、絵やカラー表示などを用いたわかりやすい庁内デザイン、案内表示の適切な配置などを検討していきます。また、情報端末などを利用した案内など、全ての人が利用しやすいよう、総合案内の運営方法についても検討していきます。
106		・正面玄関に入ってすぐのところ、わかりやすいフロア案内図があると良いです。現在は、正面玄関に入ったときに、向かって左側にフロア案内図があり、進む方向とフロア案内図の向きが違うため、地図を見るのが苦手な自分にはわかりづらいです。フロア案内図を東に向けて表示してほしいです。	
107		・入口が多くあるので、其々の入口に名称をつけて明示してほしい。(どの入口から入ったか分からなくなってしまうそう。駐車場も然り。)	
108		・各入口に案内表示が欲しい。用事がある要件はどの課で対応しているのか、またその課までの行き方など、タッチパネルなどで案内してくれる表示がほしい。それがスマホなどに飛ばせると更に良い。(何がどの課で対応しているのか分からないので検索できる機能などがほしい)	
109		・一般市民は、正面玄関よりも駐車場(北)側から入館することが多いと思うので、そちらの出入口にも案内板を設けてほしい。	
110		・実際に多くの利用がある動線は北側駐車場側の出入口でそちらがメインになりそうな予感があります。サイン計画等考慮が必要ですね。	
111		・多目的トイレが東西に設置されて良い。誘導案内が良くわかるように。	
112		・サイン計画は、わかりやすいことは勿論ですが、目的地までの動線が楽しくなるようなグラフィックサイン等を用いて、自らサインに導かれワクワクした気持ちで目的地に行けるような計画としてほしい。	

No.	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方	
113	市民開放	・市民に親しまれる開かれた議会となるように宍道湖等の眺望が楽しめる計画はとても良いと思います。議会エリアでの市議会議員の方々や市民が直接交流できるようなスペースが生まれるとさらに良いと思います。	議会フロアには、傍聴ロビーや自販機コーナー、また打ち合わせスペースを備える計画としており、それらのスペースは議員と市民の交流の場としての運用も可能だと考えております。一方で、議場及び正・副議長室や会派室の入退室については、セキュリティエリアの設定や、議会事務局の配置などにより管理できるように検討していきます。	
114		・開かれた議会を目指すこと、多くの方が気軽に行けるようにすることは良いと思うが、会議室階に市民が来て会議の妨げとならないか。		
115		・新庁舎完成後の風景として 現在の市庁舎は、用事がなければ積極的に立ち寄りやすい施設です。新市庁舎は、水と緑豊かな公園庁舎とし、市民が気楽に訪れ、時に内外で催されるイベントに気軽に参加できるようオープンで柔軟な構成とし、若者や子供たちが集い、お年寄りが立ち寄り語り合う風景が日常にみられる施設になってほしいです。そのためには、1,2階の「多目的スペース」及び各階「だんだんテラス」の活用・運営のしかたが重要です。また、末次公園と新市庁舎をつなぐ仕組みづくりが必要になると思います。		
116		・各階のテラスやトイレは、水郷際などのような時には、お客が使えるようにしてほしいです。		
117		・景観考慮がなされ新庁舎に最適だと思います。それに伴ったテラスも多目的スペース同様に開放を望みます。(土、日、花火、イベント等)その為の防犯対策も。		
118		・多目的スペースが談話室として使用出来るでしょうか(一般市民の…)。当時は貸すという話もあった気がしますが、もしそうなれば、湯沸し場が近ければ良いですが。		
119		・1, 2階の多目的スペースの使われ方や待合スペースのつくりなどは、かならずしも建築の専門家が考えるのではなく、むしろ一般市民がどう考えているのか、多様な意見をほりおこすことが先決である。		
120		・「多目的スペース」・各階「だんだんテラス」の活用・運営について 完成までの時間を利用し、「多目的スペース」・各階「だんだんテラス」の活用・運営の仕組みづくりを、市民参画(市との協働)で行うことが重要だと思います。具体的なワークショップのメリットは、市民の多様なニーズの把握ができる。また、参加者が自分たちの自慢できるものだとする意識やコミュニティ感が生まれ、地域愛の象徴となると思います。		展望テラスや多目的スペースについては、イベント時の活用方法や末次公園と新庁舎をつなぐ仕組みづくり、セキュリティ管理や運用方法など、市民や観光客などの多くの皆さまが自然に集まって、賑わい創出の場となるよう、関係部局が連携を図りながら検討していきたいと考えています。
121		・建物の階段状のテラスを多目的に市民に開放する計画は、市民も憩うことのできる庁舎となり、良いと思います。あとは、単なる多目的スペースではなく、人が集まりたくする仕掛けが必要かと思えます。		
122		・多目的スペースについて 市民活動センターとの住み分けがあるが、“気楽な”市民と行政の協働による活動を支える拠点として、気軽に足を運び、様々な情報交換を可能とする場所となるよう整備されたい。		
123		・長い間市民が待っていた?!新庁舎が出来るようで嬉しく思います。外見はお城のようで、松江にふさわしく、宍道湖に面したテラスも広く、素晴らしいと思いました。1Fは自由に出入り出来るようで、今までにない新しい考え方で、開かれた市役所になると感じました。		
124		・フロア構成について 展望テラスについては、観光客の宍道湖景観鑑賞スポット、友人、家族連れ、子育て親子等の安らぎの場として、山陰合同銀行のように休日開放も検討されたい。		
125		・各階にテラスがあることで、市民、観光客、職員の方、誰もが気軽に景観を楽しみ、リフレッシュすることができて良いと思う。		
126		・テラスの階段について 夏の花火大会などで、テラスを開放した場合、多くの人の移動に対応した階段幅になっているかどうか。集まる時はゆっくり集まり、帰る時は一気に階段に人が集まる。テラスの各階を結ぶ階段はできるだけ広めにとるか設置箇所を増やすべき。		
127	・テラスの階段はそれぞれの階で1箇所だが、もう1箇所設けて回遊性、動線の選択性があるとも良いと思う。			
128	・市民の利用が多くある1F、2Fに、市民団体等が自由に使える会議室やラボのようなスペースがあれば、関係する市の職員との交流も増え、市民と市役所の協働による活動等も活発になると思えます。			
129	・「③しんじ湖温泉駅と末次公園との動線に配慮」とありますが、地域との一体性を図り、憩いの創設を目的とされるならば、中央コンコースはむしろ多目的スペースのような空間としたほうが良いのではないかと。カフェ等の休憩可能な設えがあっても楽しいかも。			
130	セキュリティ	・テラスから執務室等にある個人情報が見えないようにしてほしいです。		
131		・各階に開放テラスがあるのは良いのですが、会議室や執務室に面した部分は立ち入りを制限した方が良いのでは。	テラスの立ち入り可能範囲の設定や、執務室への視線を防ぐ対策などを行い、セキュリティ機能の向上を検討していきます。	
132		・「⑤展望テラスの整備」について、テラスと執務室が隣り合わせとなる場合は、執務室とテラス側との視線が交わらないよう配慮願いたい。		
133	・足湯は維持管理のことを考えると庁舎には不要では。(近くにある。)			
134	利便機能	・設計方針について 再生可能エネルギーの活用に関して、冬季の凍結防止、融雪対策等に、温泉の利用を検討してはどうか。	温泉については、松江市の魅力ある資源と考えておりますので、維持管理も考慮しながら活用方法を検討していきたいと考えています。	
135		・足湯いいですね!!		
136		・水郷祭等でイベント会場となる西側駐車場エリアに散水栓や電源、また外部から使用できる公衆トイレを設置していただきたい。		
137		・展望できるテラスは、閉庁日でも、体の不自由な方でも、気軽に利用できるようEV等設備を整えてほしいです。		
138		・エスカレーターはないですか。		
139		・新庁舎全館において、可能であれば、無料公衆Wi-Fiを整備していただきたい。		
140		・プラネタリウムはどうなるでしょうか。設置を望みます。		
				展望テラスや多目的スペースについては、イベント時の活用方法や末次公園と新庁舎をつなぐ仕組みづくり、セキュリティ管理や運用方法など、市民や観光客などの多くの皆さまが自然に集まって、賑わい創出の場となるよう、関係部局が連携を図りながら検討していきたいと考えています。
		2階のテラス側に配置を計画している会議室は、市民の皆さまにもご利用いただくことを想定しています。今後運用方法について検討を進めていきたいと考えています。		
		多目的スペースなどの市民の皆さまが利用いただける機能を配置する予定としていますが、市民や観光客などが自然と集まって、賑わいを創り出す場所となるよう、中央の待合スペースも含めて、活用方法や運営方法について検討していきたいと考えています。		
		駐車場をイベント会場として活用されることも想定し、必要な設備の設置について検討していきたいと考えています。単独の公衆トイレの設置は予定していませんが、庁舎の一部を開放してトイレを利用できるよう、セキュリティ管理や運用方法等を検討していきます。		
		展望テラスや多目的スペース、エレベーターなどが、閉庁日にも市民の方に気軽に利用していただけるよう、セキュリティ管理や庁舎の運用方法を検討します。		
		エスカレーターについては、待ち時間なく大勢の人の移動が可能ですが、その分、設置費、維持管理費ともに負担が大きいため、設置する予定はありません。		
		来庁者用の公衆無線LANについては、設置の是非や仕様、利用基準等について、今後検討していきます。		
		新庁舎において、プラネタリウムや天文台を設置する予定はありませんが、移動可能な天体望遠鏡などを備品として整備し、上階の展望テラスを利用した天文教室ができるよう検討しています。		

No.	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方	
141	利便機能	・喫煙所は法律も変わると聞かし、計画に特に書いてなさそうなのできつと予定が無いのだからと期待しています。ですが、もしかして希望する人がいるかもしれないので、先に言っておきたいです。「不要です。」昨今の店の入り口付近に喫煙所を作る風潮は結局出入りするたびに受動喫煙の「被害」に遭うのですごく腹立たしいです。もちろん奥のほうにも作らなくていいです。「喫煙所が無いと変な場所で吸う人ができる」という人がきつといる(そんなのはたいがい自分のことを言ってます。)でしょうが、決まりを破ってまで人に危害を加えないでほしいです。	健康増進法に基づき、受動喫煙対策を進めてまいります。	
142		・ATMの種類が豊富だとありがたいです。	利用者の利便性が向上するよう、各金融機関と協議を進めます。	
143		・以前市役所にあった市民も使える食堂を整備する計画はないのですか。	食堂やカフェなどの利便機能については、多目的スペースへの配置を考慮しており、詳細については今後検討します。また、宍道湖や末次公園などから、多目的スペースや展望テラスとの連携が図れる、移動しやすい動線や、松江らしさの演出についても検討していきます。	
144		・市民も利用できる食堂がほしい。		
145		・2階テラスにのぼる階段の位置、2階の多目的スペースにカフェをこの設計案では、北東の角に申し訳ない程度に地上から2階テラスへと向かう階段が計画されているが、国道431号側から2階のテラスへと自然にいざなう動線、階段の設置が必要。宍道湖畔の遊歩道を散策している人が、市役所前の国道431号の信号をわたると、テラスに向かう階段がすぐ目に飛び込んでくるというイメージ。新庁舎の2階テラスは、宍道湖を眺望するという意味合いから非常に重要である。また2階の南側に計画されている多目的スペースは、ぜひ眺望を生かしたカフェ的な機能を盛り込みたい。平日だけの営業ではなく、土日に営業することも想定しておく必要がある。そのためには、外部から(テラスから)のアクセスのしやすさをしっかりイメージできる計画とすべき。		
146		・抹茶カフェなど松江ならではの飲食ブースの設置。		
147		・展望できるテラス・多目的スペース等に軽食・喫茶を設置してほしいです。食堂がないので、ぜひ設置を!!		
148		・気楽に市役所で休憩、お茶?が出来たらもつといいですね。そういう部屋があると新鮮です。		
149		・コンビニの位置 土日祝にコンビニを利用しようとするとき、駐車場が遠すぎて利用しづらいと思われる。もつと駐車場に近い位置に移動させるか、それが無理な場合敷地外に誘致した方がよいのではないか。		コンビニ等の売店設置にあたっては、閉庁時の営業形態も含めた条件整理等を行い、運営方法などを検討していきます。
150		・銀行だけでは無く、郵便局の出先も配置していただきたい。(郵便局へ振込むものは結構あるので)		これまで郵便局と協議をしてきましたが、市役所周辺に複数の局が存在する状況の中では、現時点で新庁舎への設置は難しいという回答をいただいています。
151	松江らしさ・情報発信	・大型LEDビジョン等の設置・活用により、来庁者が自然な形で「松江の歴史や魅力」などに触れることが出来るようにしていただきたい。	1階ロビーに観光案内スペースや情報発信スペース、また行政資料コーナーの設置を検討しています。発信する情報や発信方法については、デジタルサイネージも含めて検討していきます。	
152		・市内・近隣市町村など、どこで何をしているか(イベント情報など)お知らせするスポットがほしい。(休日でも市役所に行けば近隣のイベント情報がすべて分かるような場所があれば市役所に寄ってから休みの日のスケジュールを決められる。)		
153		・松江市の紹介があると良い。人口や主要産業、特産品などなどの紹介。		
154		・総合情報コーナー、展示スペースの設置について 松江市の伝統文化、観光、施政計画、統計等を提供できるスペース、必要設備の設置を検討されたい。これまで多くの計画書、説明資料が作られている。せっかく作られた各種計画書、パワーポイントの市民向け説明資料、伝統文化の記録映像等を積極的に市民へ提供してはどうか。また、随時、伝統、文化、観光、交流都市情報などの写真展示など、スポット展示のスペースとして活用してはどうか。		
155		・松江市が世界に誇るRubyを活用したシステムや設備などの導入が可能であれば、導入して新庁舎のセールスポイントの1つとしていただきたい。		現庁舎では内部グループウェアにRubyを用いたシステムを運用しており、これらは新庁舎でも踏襲していく予定です。引き続き、Rubyの活用可能性について検討していきたいと考えています。
156		・伝統工芸品である八雲塗など伝統工芸品を案内板等サイン関係、目に付く部分に取り入れるなどしてはどうか。歴史・文化を感じてもらえるのでは。		地場産業の振興はもとより、松江市民に愛着をもっていただける庁舎となるよう、松江の伝統工芸品や特産品、地場産材などを取り入れることを検討し、松江らしさの創出を図っていきます。
157		・松江城などの古い建築方法を市役所の一部に再現してはどうか。		
158		・石州瓦の利用。		
159		・佐賀県庁の展望ホールは、外国人が観光ツアーで続々と訪れるプロジェクトマップがとて人気があるようです。松江市の新庁舎も、休日等に観光客や市民が訪れたくなるような展望施設等があると地域振興(展望所=新名所)にぎわい創出につながると思います。		新庁舎では、展望テラスや市民が利用可能な多目的スペースなどを配置することとしています。これらのスペースの活用方法や運営方法については、市民や観光客などが自然と集まって、賑わいを創り出す場所となるよう、他自治体の事例を参考にしながら検討していきます。
160		その他		・人口が減少していると言われますが、私たちは故郷松江市に住み続けていきたいと考えています。50年先、100年先でも松江市が発展し続けるためのシンボルになるような新庁舎の建設を期待しています。
161	・また、数年で技術の進歩や新たに考慮すべき点が出てくることも考えられるので、今回立体駐車場をやめて、地下駐車場の整備に変更されたように、今後も最善を目指し、柔軟に計画を進めていただきたい。			
162	・他にも案があったのか。あればなぜこの案が採用され、他の案が採用されなかったのかを知りたい。		平成30年に新庁舎の基本設計・実施設計の委託業者を選定するプロポーザルを実施し、応募のあった複数の案について審査を行いました。その結果、建物の免震層を活用した地下駐車場の配置など敷地を有効に利用している点や、松江城等からの景観に配慮した建物外観や形態になっていることなどが評価され、現在の設計者に決定しました。詳細は、市ホームページの「新庁舎整備基本設計・実施設計業務委託プロポーザルの実施について」をご覧ください。	
163	・計画に対しての多様な意見の反映方法 パブリックコメントは確かに公平で幅広い呼びかけではあるが、どうしても意識の高い人だけの意見に偏るし、一方通行の意見になりがちである。市民の声を拾い上げるための様々な方法を駆使すべきである。		これまで、市民アンケートやパブリックコメントのほか、ワークショップや市民の代表による外部委員会などを開催するとともに、継続的に市議会のご意見も伺いながら検討を進めています。	
164	・昨年の春に、まだ設計者も決まっていなかった段階で、現在の市役所の問題点や、漠然とどういう市庁舎ができるといいか、ということテーマにしたワークショップが市の主催で開催され、とてもいい機会と思い、私も参加させてもらった。その経緯からすれば、今回公表された基本設計案をもとにしたワークショップを近い時期に開くべきではないか。ディスカッションから生まれる意見には、一方通行の意見とは違った意味合いと重みがある。		ワークショップにご参加いただきありがとうございます。今回実施させていただいたパブリックコメントにより、多くの方から多岐にわたるご意見等をいただけたと認識しています。引き続き、いただいたご意見を参考にしながら設計を進めていきます。	
165	・松江市報に現在の計画を掲載するなど、多くの市民の目を集めるような努力も必要であろう。		できるだけ多くの市民の皆さまに新庁舎建設について知っていただくことは、大変重要なことだと考えています。新庁舎に関する情報発信については、引き続き、市のホームページや市報などを活用し、情報発信を工夫していきたいと考えております。	

No.	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方
166	その他	<p>・今回、末次地区(橋北)に新庁舎が建替えられることは、それなりに良いことと思います。但し、橋南に住む者からすれば、わざわざ橋を越えて行かなくてはならない。と云う立地的な問題があります。市民生活と直結したセクション(住民票・税・保健など)については、橋南に出張所機能を持った建物を設置して頂きたい。(現在駅前にあります)が、もっと多機能的なモノ場所については、これまで住民エゴから綱引きになってもいけません。また、新規と言ってもコスト的に無理ですね。そこで、思い付きですが「松江市民活動センター」の建物を利用しては如何でしょうか？これとて、建物が建ってから数年が経過し老朽化も目立ちます。ひとつは、図書館の支所機能(出先の分館)を持たせ、市民が気軽に立ち寄れるようにする。このことは「市民が出かけてみたくなる。ひいては公共施設がその機能を果たすことに繋がる」と思います。以上、本来の趣旨とは掛け離れた内容かと思いましたが、私なりに意見を述べさせて頂きました。</p>	<p>本市で現在進めている公共施設の適正化の取り組みの中で、市の施設のあり方については、より良い市民サービスにつながるよう、引き続き検討を進めていきます。</p>